学校長　様

養護教諭　様

教職員の皆様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〇〇〇〇

新型コロナワクチン接種に関するお願い

拝啓　秋晴の候、貴校におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より児童・生徒の教育にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

この度、10月から始まる新型コロナワクチン秋接種について、いくつかお願いしたくご連絡させていただきました。2020年からのコロナ禍においては、学校行事の中止やオンライン授業などご苦労も多く、まして感染者発生時には、その対応においてご心労も多かったこととお察し致します。そのようなコロナ禍で、感染症対策の切り札とされた新型コロナワクチンは、他者にうつさないための思いやりワクチンなどとも言われ、児童・生徒、教職員の皆様への接種の推奨がなされたこともありました。しかし、これまでの知見から、新型コロナワクチンには感染予防効果も重症化予防効果もないことがわかってきています。

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査（2024年9月12日時点)では、進達受理件数のうち**認定数（累積）8,108件** 、**死亡一時金または葬祭料に係る件数を含む認定数（累積） 818件** となっております。この死亡者の中に13歳の男子生徒をはじめ、新型コロナウイルス感染症での**死亡リスクが極めて低い10代や20代の若者も含まれている**ことに胸が痛みます。これでも厚生労働省は、重大な懸念はないとして、今秋65歳以上の方への定期接種やそれ以外の方への任意接種として新型コロナワクチン接種を継続するようです。

さらに2024年9月12日に承認された「コスタイベ筋注」（Meiji Seikaファルマ株式会社）は、自己増殖型ｍRNAワクチン（レプリコンワクチン）であり、**接種したmRNAが増殖し続けること、接種者の体内で変異すること、接種者から他者へ伝播すること、そしてワクチンのmRNAがウイルス化すること等が懸念**されています。これは、既存の**mRNAワクチン以上の被害を生み出す**ことになり得るものであり、また**接種を望まない人への倫理的問題**も孕んでいます。またファイザー社の新型コロナワクチン「コミナティ筋注」の添付文書には、「本剤以外のSARS－CoV－2ワクチンを接種した者に追加免疫として本剤を接種した際の**有効性及び安全性は確立していない**」との記載があることから、すでにファイザー社やモデルナ社のワクチンを接種した後での「レプリコンワクチン」の接種に危険を感じざるを得ません。

以上のことから、学校から児童・生徒の皆さんに対し、新型コロナワクチン接種のリスクを周知し、決して接種を勧めることのないようにお願い致します。また、同様に教職員の皆様におかれましても、新型コロナワクチン接種には慎重なご判断がなされますよう重ねてお願い申し上げます。さらに学校保健の観点から、保護者の皆様や同居の如何にかかわらず祖父母の皆様等に対し、決して「思いやり」で接種をすることのないようお知らせいただけますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、児童・生徒の皆様の健やかな成長と教職員の皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

添付資料

１．STOP!自己増殖型レプリコンワクチン

https://hello.matrix.jp/stop\_mrna/Download/stop-replicon-mrna-vaccines-chirashi-ryoumen-print.pdf

２．日本看護倫理学会【緊急声明】

「新型コロナウイルス感染症予防接種に導入されるレプリコンワクチンへの懸念 自分と周りの人々のために」

https://www.jnea.net/wp-content/uploads/20240806kinkyuseimei.pdf